

輪

January 2021
vol.80

Kitakyushu Municipal Medical Center Communication Paper

特集 新春対談

中西理事長、中野院長 新年の抱負を語る

2023年、北九州市立医療センターは
誕生150周年を迎えます。

150th
市民とともに
Since 1873
2023 ANNIVERSARY

ご自由に
お持ち
ください



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター

叙勲瑞宝章を受章いたしました

令和2年11月3日付で、医療連携室の長瀬 国利主幹が、危険業務従事者として、長年の功績が称えられ、叙勲を受けました。叙勲とは、内閣の助言と承認に基づいて天皇陛下から授与されるものです。



がん登録中級試験に合格しました！

医療情報管理室の廣瀬 美由紀さんと吉田 愛菜さんが、院内がん登録実務中級者に認定されました。

がん登録とは、その施設におけるがん診療の実態を把握し、がん診療の質の向上とがん患者の支援をめざして活動を行うものです。当院では年間約2,500件の新規がん患者さんのがん治療情報を収集・登録しています。



標榜診療科一覧

内科	精神科	内分泌・糖尿病内科	乳腺外科	胆のう外科	リハビリテーション科	皮膚科	放射線科
肝臓内科	呼吸器内科	緩和ケア内科	内分泌外科	脾臓外科	脳神経外科	泌尿器科	病理診断科
血液内科	消化器内科	小児科	大腸外科	食道外科	呼吸器外科	産婦人科	麻酔科
感染症内科	循環器内科	外科	肛門外科	胃腸外科	心臓血管外科	眼科	歯科
心療内科	腫瘍内科	消化器外科	肝臓外科	整形外科	小児外科	耳鼻咽喉科	

《基本理念》

わたくたちは公共的使命を自覚し
心のこもった最高最良の医療を提供します

《基本方針》

1. 患者さんの権利 個人情報保護し
患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに
患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし
安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し
あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し
地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます

広報誌「輪」をリニューアルしました！

「輪」はこの新年号より発行部数を1,000部から3,000部に増やし、患者さん向けの内容にリニューアルし、より読みやすい誌面にしました。また配布先も、地域連携病院に加え、北九州市や消防局、医師会、院内ロビーにも配布し、ホームページにも内容を展開いたします。市民の皆さまに支えられながら成長してまいりました当院は、明治6(1873)年4月に小倉医学校兼病院として設立され、令和5(2023)年には創立150周年を迎えます。この「輪」を通して見る側の立場に立ったわかりやすい情報を発信していく所存ですので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いいたします。 広報誌「輪」編集長 秋穂 裕唯



地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立医療センター

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号
TEL.093-541-1831(代表)
FAX.093-533-8693
<https://www.kitakyu-cho.jp/center/>
©発行日：2021年1月1日



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

輪 January 2021
vol.80

中西理事長、 中野院長 新年の抱負を語る



昨年のコロナを振り返って

中野院長…当院では、第二種感染症指定医療機関として昨年3月23日に初めて患者を受入、以後10月末までに重症患者さんを含め290名の受入、加療を行ってきました。福岡市は、5つの感染症指定医療機関で20床を確保していますが、北九州市の感染症指定医療機関は当院のみであり、最初は職員の負担も大きく、また、患者さんにもご心配をおかけしたと思います。職員一丸となって、ハード面やソフト面

院長

中野 徹

趣味：ゴルフ
エピソード：アフリカ(タンザニア)派遣第1号
座右の銘：誠実



の対応を行い、院内感染を起こすことなく医療を提供してきました。

中西理事長…当院は、一昨年の4月に独法化し、北九州市民の命を守る中心医療機関としての役割を果たし、また北九州市唯一の感染症指定医療機関として活動を開始してきました。その矢先にコロナ禍

となりました。これからもコロナは続くと思いますので、市立医療センターを中心として、北九州市のコロナ医療を守っていくのが私たちの使命だと考えています。

医療センターのこれから

中野院長…コロナの時代ですので、市民の皆さまが、安心して治療を受けていただけるシステムの構築が大事だと考えています。早い段階からコロナ対策を講じ、職員への抗体検査や全入院患者さんのPCR検査を開始しました。安

全な感染症指定医療機関だからこそできる、感染症予防対策をしっかりとやっていることを市民の方にアピールしながら、私たちに課せられているがん診療や総合周産期医療を遂行していくことが重要だと考えています。

あつても安心して医療を受けられる環境をさらに整えていくこと、それを市民の方に情報を発信していくことは近未来における重要なことだと考えています。また、建物が老朽化しているので、コロナをしっかりと克服する体制を整えて、できるだけ早期に病院の建て直しを進めていくことが少し先の目標だと考えています。そのためには、信頼される医療を提供することが何よりも求められていると思います。

今年の抱負

中野院長…令和2年当初は、こういった時代になるとは予想していませんでした。今年は、コロナ禍であつても十分予防策をとりながら、市民に信頼される医療を提供し続けることが抱負のメインです。独法化して3年目になりますが、市民のための病院であるという、公共的使命をさらに自覚し、心のこもった最高最良の医療を提供するという基本理念は変わりません。

安全をしっかりと守っていくこと、「安心」は、受診される患者さんやご家族が安心して病院に來られること、職員も安心して仕事ができること、こういった環境をしっかりと作っていくこと、またそういった環境であることを皆さまにお伝えすることが重要であると考えています。それを基盤に高度な信頼される医療を北九州市民に提供していくことが、今年最も求められていることだと考えています。

市民のみなさんへメッセージ

中野院長…当院は、再来年で150周年という節目の年を迎えます。市民の皆さまのご信頼と、多くの開業医の先生方からのご紹介によって、成り立っています。職員一同その付託に応えるよう努力してまいりますのでご支援していただきしたいと思います。

中西理事長…今年は独法化して3年目になります。2年目はコロナ禍での医療体制を守ることが優先されましたが、コロナ対策にかえて3年目はさらに医療のサービスと質の向上を図り、市民の皆さまに頼られる病院にしていきたいと思っています。



理事長

中西 洋一

趣味：料理・落語
エピソード：新しい医療を創る組織を複数設立
座右の銘：中庸

中西理事長…今年のキーワードは「安全と安心」です。「安全」は、コロナを中心として、感染症や医療の



当院の糖尿病診療の特色を生かしながら、糖尿病診療体制の充実を図るとともに、院内の多職種による集学的療養指導を強化するため、糖尿病センターを開設いたしました。

糖尿病の治療の目標は、糖尿病合併症の発症進展を防止し、健康人と同じ健康寿命を確保することにあります。そのため

には、血糖コントロールだけでは

ドの外来と入院診療を行います
 また、当センターは、当院通院
 中の患者さんの手術時の血糖管
 理や、周術期・周産期や化学
 療法時の血糖管理にも、個々の
 患者さんの状態を把握し、専門
 治療を行います。
 糖尿病センターの開設を機に
 各診療科との連携を深め、看護
 師、薬剤師、管理栄養士、臨床
 検査技師と、糖尿病診療と教
 育の協力体制を強化すると

なく、患者さんの全身の代謝やホルモンを評価しながら、血圧や脂質、体重を管理することが重要です。当センターは糖尿病の原因となる肥満症の治療や、高齢者においては、サルコペニア、フレイルや、骨粗鬆症の予防を念頭におきながら、経験豊富なスタッフと協力して、患者さん一人ひとりに対するオーダーメイドの外来と入院診療を行います。

また、当センターは、当院通院中の患者さんの手術時の血糖管理や、周術期・周産期や化学療法時の血糖管理にも、個々の患者さんの状態を把握し、専門治療を行います。

糖尿病センターの開設を機に

A group photograph of the research team, consisting of approximately 18 individuals, mostly wearing white lab coats, posing in a hallway. The group is arranged in several rows, with some individuals in the front row wearing ties. The background is a plain, light-colored wall.

糖尿病子一ム

もに、北九州地区や筑豊地区、京築地区の先生方との診療連携を一層広げていきたいと思ひます。

期治療介入と血糖正常化、合併症進展防止、ひいては健康寿命の延長に尽力してまいります。

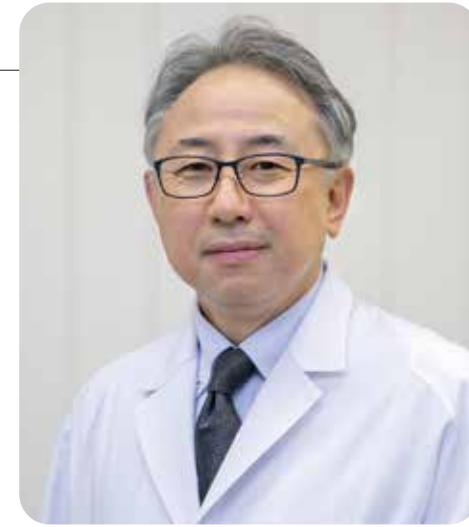
今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新しい
センターの
ご紹介



糖尿病センター

センター長 **尼田 覚** あまだ さとし



国の第3期がん対策推進基本計画に則り、令和2年4月1日に福岡県から地域がん診療連携拠点病院（高度型）の指定を受けました。地域のがん患者さんにより充実したがん医療を提供し、がんとの共生を推進していかなければなりません。院内のがん診療関連部門の有機的な連携体制の構築と情報の共有、業務の指示報告体制の強化を図るために、この度がんセンターを開設い



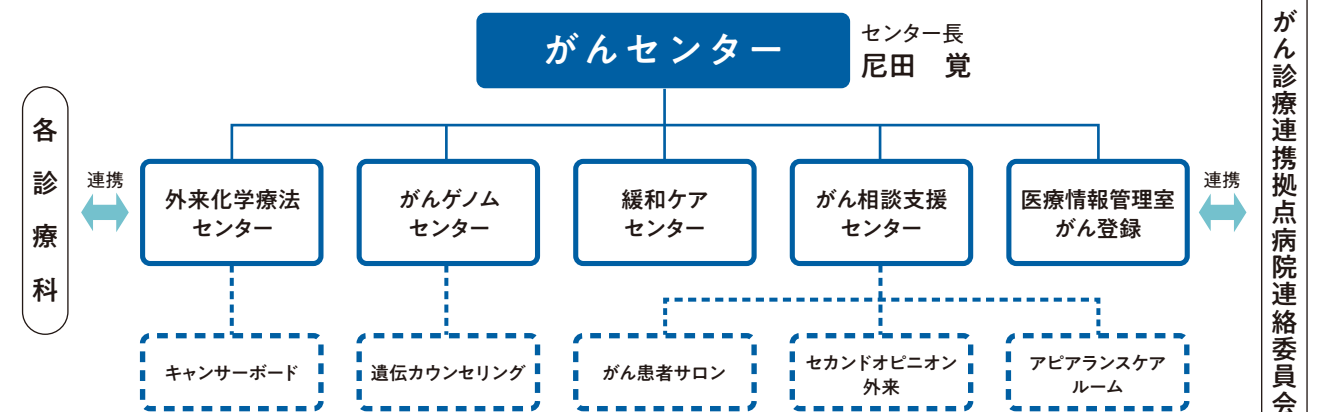
キャンサーボード

たしました。がんセンターでは、二
福岡県がん診療連携拠点病院や
北九州地区の地域がん診療連携
拠点病院との密な情報交換、二
地域医療従事者への情報発信や
研修の機会提供、三、地域が患
者への情報発信と相談支援や就
労支援の強化、四、地域医療ク
リティカルパスの活用強化、五、がん
と診断された時から切れ目のな
い緩和ケアの実践、六、がんゲノ

今後とも皆さまのご期待に
 えるよう努力していく所存です。
 一層のご支援ご鞭撻を賜ります
 ようよろしくお願いいたします。



緩和ケア研修会



年男・年女

今年は丑年。あなたが主役！
そんな皆さんに今年の抱負を聞きました。



栄養管理課
山下 桜

放射線科 主任部長
柿原 大輔

看護部
奥田 幸枝

産婦人科 部長
魚住 友信

放射線技術課 技師長
満園 裕樹

看護部 手術室師長
尾ノ上 千春

脳神経外科 部長
金田 章子

リハビリテーション技術科
酒井 雄真

看護部
井上 結貴

経営企画課
倉岡 秀幸

看護部
鈴木 日向子

会計の手順



会計受付または文書受付にて、書類をご提出のうえ、番号札をお受け取りください。



番号札のQRコードをスマホで読み込みいただくと、順番が近づいたことをお知らせいたします。



モニターで表示した番号でお呼びいたします。自動精算機または会計窓口、文書窓口へお越しください。すでに番号が呼ばれている場合は、スタッフにお声がけください。



自動精算機で医療費をお支払いいただき終了です。番号呼び出しシステムは1月中旬より稼働予定です。あわせて会計フロアも一部改定いたします。

病院のかかり方

受付・会計フロア体制の変更について

令和2年8月17日より、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、開院時間を従来の7時15分から7時45分に変更し、入口での手指消毒と検温を開始いたしました。あわせて診療予約枠の平準化と、再来受付機は診察の90分前から対応とすることで、患者さんの密を防ぐ工夫をしております。

また、昨年10月1日より患者サービスの向上を目指して、①並んだままお待ちいただくことの解消②お一人ずつの丁寧な対応③お名前を呼ばないことを目的として、外来会計体制を以前より多くのスタッフを配置して変更しております。1日の外来

私たちに
お尋ねください。



患者数が千人を超える日があり、お昼前後のピーク時に会計計算においてもお待ちいただくことがあり、11月上旬には大変ご迷惑をおかけするケースが発生いたしました。心よりお詫び申し上げます。頂戴いたしました貴重なご意見をもとに、改善を進めておりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

TOPICS

手術支援ロボット「ダヴィンチ」100症例達成

当院では令和元年9月に「ダヴィンチ」を導入、同年11月に初症例を実施し、令和2年11月に100症例を達成しました。現在、当院では泌尿器科(前立腺がん・腎がん・腎盂尿管移行部狭窄症)、外科(胃がん・直腸がん・食道がん)で手術を実施しております。今後も診療科と症例を順次拡大していく予定です。



手術支援ロボット「ダヴィンチ」とは?

「ダヴィンチ」は、低侵襲技術を用いて複雑な手術を可能とするために開発されました。傷口が小さいため、体への負担が軽減されることが回復までの日数が短くなるなどのメリットがあります。